

● トピックス ●

広帯域音声の伝送技術を利用した「e音IPフォン™」

広帯域の音声を送る技術をもとに、従来の固定電話の音質をはるかにしのぐ「e音IPフォン™」

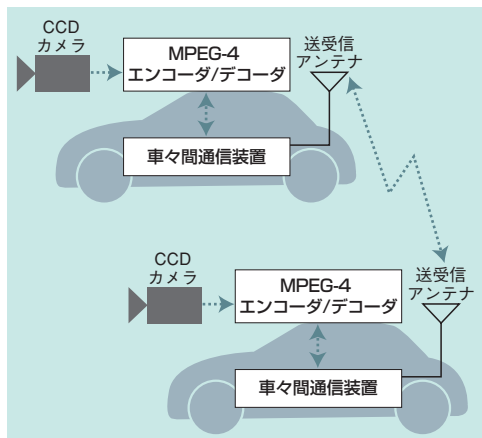


を開発しました。通話音質が格段に向上したことによって、通話内容をより正確に、臨場感とともに伝えることができるなど、電話によるコミュニケーションの可能性を広げる商品として業界で注目されています。

車から車への動画伝送システム

当社は、独立行政法人産業技術総合研究所、名城大学、京都大学とともに、高度道路交通システム（ITS: Intelligent Transport Systems）を利用して、交通状況に関する動画像を車から車へと送信する動画伝送システムを世界で初めて開発しました。これは、道路側の無線装置と自動車の間の通信に用いられるDSRC（Dedicated Short Range Communications）方式を利用したシステムで、テレビ電話より高画質な31万画素の動画を、MPEG-4に符号化して4Mbpsの伝送速度でスムーズに連続伝送することができます。当社は今後、システムの小型化やユーザインタフェースの向上を図り、2005年

度中の商品化をめざします。



動画伝送システムの構成

印刷文書の安全性を確保するセキュアプリント技術

印刷文書に特殊な地紋の形でデジタル情報を透かし込む沖独自の「セキュアプリント技術」は、印刷文書の改ざんを99%以上の高い精度で判別、検出できる技術です。また、この技術を応用して手書きアンケートの回答入力作業を自動化するソフトウェアの販売も開始しています。今後は、従来は不可能だった印刷文書からの情報漏洩の防止など、さまざまなセキュリティ機能実現のため開発を継続していきます。



セキュアプリント技術

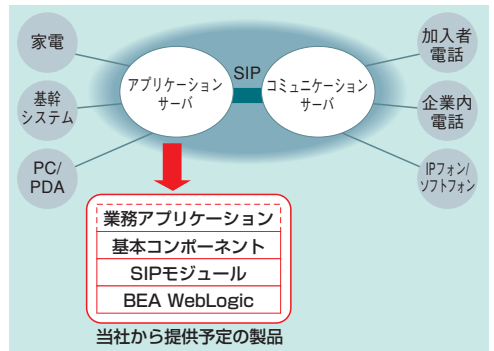
世界最長の伝送を実現した 光ネットワーク用光符号器

同じ波長の信号を複数の通信チャンネルに割り当てることにより、帯域を保証しながら大容量データを伝送できる光符号分割多重方式 (Optical Code Division Multiplexing: OCDM) の伝送システムに向けた新構造の光符号器を開発しました。この光符号器を用いることで、分散補償ファイバを使わないシングルモードファイバによるOCDM伝送において、10Gbpsの伝送速度で世界で初めて40kmの長距離伝送に成功しました。今後、光符号器および同符号器を搭載した光送受信機の実用化を図っていきます。

情報通信融合ソリューションの開発

当社は、日本BEAシステムズ株式会社とともに、システム基盤ソフトウェア「BEA WebLogic Platform™」に対応したSIPソフトウェアモジュールを世界で初めて開発しました。このモジュールを活用することで、Web上の業務アプリケーションに、IP電話やテレビ電話、インスタントメッセージなどのコミュニケーション機能を簡単に追加することができ、ビジネスプロセスとコミュニケーションの統合が図れます。当社は今後、VoIP、CTI、セキュリティ、ネットワークなどのコア技術と「BEA WebLogic Platform™」を組み合わせたビジネス連携ソリューションを銀行・証券業界や通信

業界、製造業などに向けて幅広く提供していく計画です。



ビジネスプロセスとコミュニケーションの統合を実現

「沖電気システムセンター」を竣工

埼玉県蕨市の事業所を拡張し、新たに情報通信融合ソリューションビジネスの戦略拠点として「沖電気システムセンター」を2004年4月5日に竣工しました。本拠点では、最先端分野を担う技術者に対応したハイインフラ、オフィスとしての快適性、エネルギー負荷の低い環境にやさしい建物を実現しています。これまで、3拠点に分散していた情報と通信システムの開発者を本拠点に集結させることで、約2,500名の体制を整備し、お客様に最適なソリューションを開発、提案していきます。



沖電気システムセンター